

令和元年度 海外 FW 報告会

探究学習推進室

- 1 目的 探究学習委員会の生徒が海外 FW でのどのような活動や研修を行い、どのような成果や今後の課題を得たのかを共有する。また、来年度に向けて興味・関心を持っている1年生にも、海外 FW の活動内容について周知することも目的とする。
- 2 日時 令和元年9月11日(水) 16:20~17:50 会議室
- 3 内容 オーストラリアコース、マレーシア・シンガポールコースごとにプレゼン
〈報告内容〉
 - 1 日程説明
 - 2 企業訪問について
 - 3 高校訪問について
 - 4 大学訪問について
 - 5 街頭調査とプレゼンについて
 - 6 ホームステイについて
- 4 対象 探究学習委員会生徒 22名、1年生希望者

5 報告会の様子

両コース 30分程度での報告を想定していたが、生徒たちはそれぞれ話したいこと、伝えたいことがたくさんあるようで、かなり一人一人の時間が長くかかってしまい、大幅に時間を超過してしまう程であった。出発前のどこが不安げな表情とは対照的に、海外FWを経験した「自信」めいたものがその表情からも読み取れた。1年生も10人の生徒が報告を聞いてくれて、来年の海外FWに向けて意欲を新たにしようである。

6 1年生の感想

- ・私は何度か海外に行ったことはありますが、(オーストラリアもマレーシアも)旅行で分かるのは、言語のことや、トイレ事情だったり、観光地のことだったりとあまりよく国について知れてないと感じました。高校や大学に行ったり、ホームステイしたりプレゼンしたりすることはもちろんなく、興味深い内容でした。英語で話すことは得意でないのですが、これからの勉強を頑張ろうと思いました。
- ・企業訪問、大学訪問などの話を聞いて、文化の違いを先輩方が肌で感じてきたことが本当に良く伝わってきました。また、FW前後で自分の行動力や積極性が身についたという感想が印象的でした。

- ・日本と外国は教育面、文化面など様々な面で違いがあることを改めて感じた。外国での授業は全員が積極的に手を上げるなどの日本の教育が見習わなければいけないことが多くあり、学ぶことができた。日本と外国の異文化感は勉強すれば理解できるが、現地に行きフィールドワークを通してそれらを肌で感じることに意味があると感じた。
- ・海外F Wでは街頭調査やプレゼンしかなしないのかと思っていましたが、高校・大学・企業訪問や、ホームステイなどもできるということで、ますます興味がわいてきました。どちらのグループも楽しそうで、かつなかなか得られない体験ができていることが印象的でした。
- ・なまりで英語が聞き取れないオーストラリアと、話せる人も多いがマレー語しか話せない人もいるマレーシアでの体験の違いが印象的でした。報告会に行く前よりも、現在さらに探究学習への関心が高まりました。
- ・今回F Wに行った先輩方は学びたいこと、知りたいことを明確にしている、充実した体験を行ってきたように感じた。私も次回のF Wに参加し、明確な目標を立て、達成し、自分の成長に繋がりたいと思った。
- ・先輩たちは、研修を行うことに目標を持って行っていたことでいろいろな着眼点で物事を見ていたことがすばらしいと思います。海外に出る、すなわち日本を出るということで異文化を肌で感じられ、帰ってきたときには違った自分になっているほど多くの経験を積むことができるこの研修に魅力を感じます。

